

**平成 29 年度（公財）日本水泳連盟公認
基礎水泳指導員養成講習会
ならびに検定試験実施要項**

1. 目的

水泳指導員の養成とその充実を図り、もって水泳の普及と発展に努めるため、(公財)日本水泳連盟基礎水泳指導員規則に基づき基礎水泳指導員養成講習会とその資格検定試験を実施し、指導者としての資質、技術の向上と多くの指導者を養成する。

2. 主催 群馬県水泳連盟

3. 受講資格及び受講者数

- (1) 満 18 歳以上の者で、群馬県または近県に居住、勤務している者。
高等学校（専門学校を含む）最終学年においては 17 歳でも受講・受験することができる。
- (2) 地域においてスポーツ活動を実施しているクラブやグループや、スポーツ教室で实际的指導に当たっている指導者及びこれから指導者になろうとする者。
- (3) 受講者数は 40 名以内（先着順、定員になり次第締切る）
- (4) 受講希望者が 20 名未満の場合には講習会は実施しない。実施しない場合は参加費用を返金する。
なお、再受験者を対象とした検定試験は実施する。

4. 講習会（40時間）の内訳

学 科	集合講習(家庭学習)	実 技	集合講習(家庭学習)
水泳と生活・歴史	1 (2)	基礎及び実践技術	15 (0)
水泳の科学	2 (0)	日本泳法(横泳ぎ)	3 (0)
水泳指導者・水泳指導法	2 (1)	個人・集団の指導実習	3 (2)
水泳の管理と安全対策	1 (3)	心肺蘇生法	4 (0)
競技規則と審判法	1 (0)		
集合 7 時間 家庭 6 時間	計 13 時間	集合 25 時間 家庭 2 時間	計 27 時間

9 科目 集合講習 32 時間 家庭学習 8 時間 合計 40 時間

5. 実施期日 及び 会場

期日 平成 29 年 10 月 15 日, 22 日, 29 日, 11 月 5 日, 12 日, 26 日,
12 月 3 日(検定試験) [すべて日曜日]
[予備日] 12 月 2 日(土)・・・補講日
真にやむを得ない事情(けが, 病気, 葬式等)により 1 日だけ欠席
した場合は予備日に受講する。(プール使用料 1,000 円を徴収する)

会場 (学科) 群馬県総合スポーツセンター 本館 3 階 第 1 研修室
前橋市関根町 800 電話 027 - 234 - 5555
(実技) 群馬県立敷島公園水泳場
前橋市敷島町 66 電話 027 - 232 - 7871

6. 経 費

1年目	受講料	15,000円 (資料代等含む)	
	検定料	5,000円	
	施設使用料	3,000円 (研修室・プール使用料)	計 <u>23,000円</u>

2年目以降

再受講料 [昨年度までに受講を修了した方で、再受講を希望する人]
5,000円 (科目数に関係なく)

再受験料 学科 2,000円, 実技 2,000円 (科目数に関係なく)

なお、参加不可能になり、講習開始日の前日までに連絡があった場合は、
受講料・検定料・再受講料を返金する。受講途中での返金はしない。

再受験料は受験不可能となっても返金しない。

7. 日 程 別紙 (後日、受講者・受験者に郵送する)

8. 申込方法

(1) 受講料と検定料 (23,000円) を郵便振替にて指定口座に振り込む。

* 口座番号 00140-8-789607 前川 浩市

(2) 様式-1の申込書に必要事項を記入し、(1)の郵便振替の受領証の写し
を同封の上、平成29年8月1日から9月10日までに下記宛に申し込むこと。

再受講を希望する方、再受験だけを希望する方も29年9月10日までに
申し込むこと。

〒376-0035 桐生市仲町3-1-19 前川 浩市
TEL 0277-22-0134

(3) 郵便振替の受領証をもって領収証にかえる。

再受講料、再受験料も郵便振替で振り込むこと。

前年度までに受講を修了し、再受講・再受験する場合には、

再受講・再受験申込書

様式-1の申込書

「結果通知書」と「結果内容」の写しを同封すること。

また、再受講を希望する方は、科目名を記入すること。

9. 検定・審査

技能検定と筆記試験を総合判定し、群馬県水泳連盟検定委員会の判定を
日本水泳連盟地域指導者委員会において審査する。

10. 認定及び登録

検定に合格した者には「合格通知書」を発行する。登録を完了した者を基礎
水泳指導員として公認し、(公財)日本水泳連盟より「資格証」を交付する。

また、登録料については、4か年で14,000円とする。

1.1. 参加上の注意

- (1) 受講者は、同一年度内に全科目を履修すること。
 ただし、再検定試験の受験有効期限については受講開始後3年間とする。
- (2) 受講者は、筆記用具・トレーニング服装・水泳着・水泳帽子・Tシャツを用意すること。
- (3) 帽子に名前を付けること。 シリコンは裏に直接油性マジック等で書く。
 メッシュは表または裏に名札を貼る等。
- (4) テキスト「水泳指導教本」「救急蘇生法の指針」(合計3000円)は主催者が準備するものを購入すること。(講習会初日に販売する)

1.2. 実施予定表(内容については変更することもある)

実施計画表(案)

	9	10	11	12	1	2	3	4	5
10月 15日	各種泳法			昼 休	食 憩	オリエン テーション	競技規則と 審判法	水泳と生活・ 歴史	
22日	各種泳法			昼 休	食 憩	水泳の管理と 安全対策	指導計画の 立案	予備時間	
29日	各種泳法			昼 休	食 憩	心肺蘇生法			
11月 5日	各種泳法			昼 休	食 憩	水泳指導者・水泳 指導法	予備時間		
12日	個人・集団の 指導実習	実習の 評価		昼 休	食 憩	水泳の科学	予備時間		
26日	各種泳法			昼 休	食 憩	横泳ぎ	予備 時間		
12月 2日	予備日 [真にやむをえない事情(けが・病気・葬式等)により (土曜日) 講習を1日だけ欠席した場合はこの日に受講する]								
3日	実技検定試験 面接			昼 休	食 憩	学科検定試			

* 午前部の受付は 8:40 から。(ただし、第1日目は8:20 から)
 午後部の受付は講習開始15分前から。

様式 - 1 (太線内のみ記入のこと また年齢は検定日当日の満年齢を記入する)

(公財)日本水泳連盟 基礎水泳指導員養成講習会受講申込書
 (公財)日本水泳連盟 基礎水泳指導員 検定試験受験申込書 (コピー可)

現住所	〒				電話			
	ふりがな	性別	年齢	生年月日				
氏名	印	男女	才	19	年	月	日	

年齢は検定日当日(12/3)の満年齢を記入する
2.5

受験番号	学科	試験場	年	月	日	正面脱帽 上半身 写真	3.5	
	実技	試験場	年	月	日			
再受講科目名								

講習・実習日							
会場							確認印

履 歴 ・ 水 泳 歴		
最終学歴		
職 業	勤務先	職名
	所在地	電話
水 泳 歴	競技歴	
	指導歴	
	役員歴	

学生, 専門学校生は職業欄に学校名を記入し「在学」と書く。
 記入後に, 「年齢・捺印・写真の貼付」を確認すること。